

平成28年度 9月補正予算案



京 都 府



予算編成の基本方針

- ◆ 今回の9月補正予算は、以下の観点から予算を編成
 - ▶ 府内の景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、不透明な状況にあり、今回、伝統産業支援を内容とした第1次緊急経済対策を実施。今後、国補正予算の状況を見つつ、第2弾の経済対策（公共事業、中小企業支援、地域創生等）の予算を編成していく考え
 - ▶ 共生社会の実現や安心・安全の充実など、6月補正予算以降の状況を踏まえ、特に速やかに対応すべき施策について予算を編成
 - ▶ 来年度開催の「お茶の京都博(仮称)」の準備や文化施策の振興など、京都の将来を見据えた地域創生の取組を更に加速化

【9月補正予算の基本方針】

- (1) 第1次緊急経済対策
- (2) 共生社会の実現
- (3) 安心・安全の充実
- (4) 地域創生の加速化

第1次緊急経済対策



第1次緊急経済対策・織物産業の再生

～ 新商品開発等に意欲的な織物産地を後押し ～

新 織物産地創生支援事業費

38 百万円

- 新商品開発等により明るい兆しが見えつつある織物産地の生産基盤支援補助金の追加

産地の状況

- ▶ 広幅生地等を活かした新商品開発や織機の増設の動きが活発化

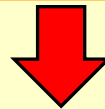
- 伝統産業生産基盤支援事業においても、前向きな投資が増加

申請1.4倍

- ▶ 若者を中心とした、従業員の雇用が拡大

- 府が実施する織物の人材研修においても若者の受講が急増

受講者2.3倍



補助対象	洋装や室内装飾等の広幅織物等に関連する生産設備の増強
補助率	新增設15%(上限5,000千円)更新等1/3(上限2,500千円)

第2次緊急経済対策→今後、国の補正予算の状況を踏まえ予算を編成

共生社会の実現



共生社会の実現・障害者スポーツの振興

～ 共生社会実現に向けた障害者スポーツと教育の振興 ～

新 共生社会実現事業費（その1）

障害者スポーツ振興事業費

17 百万円

「サン・アビリティーズ城陽」がパラリンピックパワーリフティングの「ナショナルトレーニングセンター」に指定

パラリンピアン支援事業費

トップアスリート支援

- ▶ トレーニング機器増設、医科学機器整備、スポーツ医の派遣
→ ナショナルトレーニングセンターの機能強化

障害者スポーツ交流事業費

裾野拡大と府民理解

- ▶ トップアスリートの練習見学会や障害者スポーツの体験、選手による講演会・指導等を実施
- ▶ 障害者スポーツ拠点の利用環境や周辺環境を整備



共生社会の実現・特別支援教育の振興

～ 共生社会の実現に向けた障害者スポーツと教育の振興 ～

新 共生社会実現事業費（その2）

特別支援教育振興事業費

242 百万円

債務負担行為 656 百万円

特別支援学校の整備を着実にすすめるとともにインクルーシブ教育を更に推進（障害の有無によらず同じ場所で共に学ぶ教育）

地域共生型支援学校推進費

- ▶ 小中学校との交流・共同学習、「共生社会推進サポーター」育成
- ▶ 新設校へ通学予定の児童生徒・保護者間のネットワーク構築

特別支援学校整備費

児童生徒200名規模

- ▶ 用地取得費及び造成工事費を計上

→平成32年4月山城地域での開校に向け着実に事業実施

安心・安全の充実



安心・安全の充実・子育て・高齢者の安心

～ 子育て、高齢者の安心・安全の確保をソフト・ハード両面で支援 ～

新 子育てあんしん特別強化費

224 百万円

妊娠出産相談体制強化費

センター8月開設

- 「きょうと子育てピアサポートセンター」に妊産婦向け専用相談窓口を設置
- NICU等の周産期医療現場における看護師等研修の実施

周産期医療受入体制構築費

- 慢性的に満床状況となっている高度周産期医療機関から後方医療機関への受入基準ルールや受入体制の構築

小児・周産期医療体制充実費

- 小児・周産期医療機器の整備支援
→ 超音波診断装置、保育器、母胎分娩監視システム等

13病院へ支援

特別養護老人ホーム整備事業費

248 百万円

- 特別養護老人ホームの施設整備に対する支援
 - ▶ 早期着工が可能となった施設の整備（老朽化施設の改築 1施設）



安心・安全の充実・府民防災力の向上

～「災害からの安全な京都づくり条例」に基づく施策～

新

府民防災力強化事業費

510 百万円

<条例の3本柱>

- ① 災害危険情報の整備・公表等 → マルチハザード情報提供システム稼働(28.4～)
- ② 災害に強いまちづくり(ハード対策) → 「安全強化公募型事業費」【今回補正】
- ③ 地域防災力の向上(ソフト対策) → 「地域防災力強化事業費」【今回補正】

地域防災力強化事業費

- ▶ 特定地域防災協議会設置予定地域等の自主防災組織を対象にモデル実施
- ▶ 府、市町村が連携し、実践的防災人づくりと資機材整備をセットで実施

安全強化公募型事業費

5億円規模

- ▶ 頻発する豪雨災害等を踏まえ、身近な道路や河川の改修など、災害に強いまちづくりを推進

地域創生の加速化



地域創生の加速化・「お茶の京都博(仮)」の開催準備



～ Discover Premium Green ～

～ 宇治茶の魅力を国内外に発信 ～

H29のターゲット
イヤーに向けて

新「お茶の京都博(仮称)」発信力アップ事業費

50 百万円

「お茶の京都博(仮称)」丸の内事業費

- 東京丸の内仲通り界限での「お茶壺道中」や市町村ブースの出展などにより「お茶の京都」をPR

「お茶の京都博(仮称)」魅力発信事業費

- TV番組特番、PRビデオ、公式ホームページの制作

キックオフイベント開催準備費

- キックオフイベント(29.4)の開催に向けた事前準備



地域創生の加速化・文化による地域創生

～ 京都文化の新たなかたちを創造・発信～

新未来を拓く「文化創生」事業費

15 百万円

北山文化環境ゾーン魅力発信事業費

- 魅力ある多様な京都(日本)文化を発信するアートイベントを実施

時期：平成28年11月下旬～12月(予定)

会場：陶板名画の庭、京都学・歴彩館

12/23一部オフ(予定)

→ 文科省と実施のホップ・文化・ワールドフォーラム(10月)の盛り上がりを継続

文化レジリエンス事業費

- 企業からのふるさと納税により地域創生につながる文化財の保護対策を展開

補助対象	府内の文化財全般(国・府指定・登録、未指定)
補助要件	「防災対策」「文化財公開」等の地域創生につながるもの
補助率	1/2以内(災害復旧に係る事業は2/3)



予算案の規模

平成28年度 現計予算

964,915 百万円

平成28年度 9月補正予算

1,344 百万円

合計

966,259 百万円

対前年9月補正後比較
(99.6 %)